

令和3年予算特別委員会

総括質問

⑩ 鈴木 昇 委員（日本共産党）

一 新型コロナウイルス感染症について

鈴木昇委員のご質問にお答えいたします。

まず、PCR検査の実施についてです。

区ではこれまで、

検査が必要な方に対して、

速やかに実施して参りました。

今後必要な検査を

確実に実施して参ります。

次に、PCR検査体制の拡充についてです。現在、多くの医療機関において、

平日以外にも実施していただいております。

また、1日当たりの検査件数についても状況に応じて増やして参りました。

今後も区民が必要な時に

速やかにPCR検査を

受けられる体制を維持し、

感染拡大防止かくだいに努めて参ります。

次に、保健所の体制についてです。

保健所では、

新型コロナウイルス感染症の発生に伴う

業務量の激増げきぞうに対応するため、

通常業務の優先順位を考慮しながら

所内の執行体制を見直し、

感染症対策に重点を移して
業務を行って参りました。

また、職員の異動や兼務発令、
会計年度 任用職員の採用、

東京都からの職員派遣などの体制強化や
職員の献身的な職務への取組みにより、
新規 陽性者が急増した際にも
一人ひとりへの

きめ細かな対応を行って参りました。

保健師などの増員については、
業務内容や事業量等を勘案しながら、
保健所の業務について

円滑な運営が図れるよう、
会計年度 任用職員等の活用も含め、
適切な人員配置に努めて参ります。

「一 新型コロナウイルス感染症について」の答弁終わり

【自席にお戻りください。】

三 地域産業支援について

ご質問にお答えいたします。

まず、一時支援金への

上乘せ等とつについてです。

このたび

「台東区 商店街連がい合会」が実施した

アンケート調査においても、

売上減少に伴い、土産品店を初め、

みやげひん

多くの事業者に、
深刻な影響が出ています。

区では、一時支援金への上乗せや
区独自の給付金の創設は考えておりませんが、
事業者の皆様からいただいた声を、
私が、国に届け、
必要な支援を直接要望いたします。

また、商店街からのヒアリングや
アンケート結果を踏まえ、
一時支援金の申請に係る説明会を
3月25日より区内各所で実施して参ります。

引き続き、
事業者に適切な支援が行き渡るよう、
努めて参ります。

次に、飲食店などの

許可申請手数料の免除についてです。

飲食店などの

食品関係営業に係る許可申請手数料は、

平成19年以降、金額を据え置いています。

また、本年6月からの

業種見直しに際しては、

一つの許可で扱える食品の範囲が拡大され、

原則、一施設、一許可となるなど、

全体として事業者の負担が軽減されています。

さらに、固定店舗の営業許可年限は、

最低6年であることを勘案すると、

現在の手数料額は適正であり、

金額の免除については考えておりません。

「三 地域産業支援について」の答弁終わり

ご質問にお答えいたします。
令和3年度予算については、
区民の生命と暮らしを守るため、
ウィズコロナの時代における
今後の区政運営の4つの柱に基づく事業に、
重点的に予算配分を行いました。

四 予算10%カットありきの「理念なき予算編成」について

予算編成にあたっては、
大幅な減収が見込まれる中、
必要な財源の確保を図るため、
全ての事務事業について
見直しを行っております。

具体的には、一律に経費削減はせず、
個別の事業ごとに、過去の実績や
新型コロナウイルス感染症による

影響等^{とう}を踏まえ、事業手法の見直しや
経費の縮減^{しゅくげん}などを行いました。

引き続き、持続可能な財政基盤を堅持し、
「ひと」と「まち」が輝く

明るい未来を築き上げるため、
全力で区政運営に取り組んで参ります。

終わり

「四 予算10%カットありきの「理念なき予算編成」について」の答弁

【自席にお戻りください。】

教育長答弁

庶務課・指導課

鈴木 昇 委員（日本共産党台東区議団）

二 教育に関わる取り組みについて

（一）質問にお答えをさせていただきます。

まず、学校図書購入や学校司書についてでございます。まず、

教育委員会におきましては、予算編成にあたり、教育に関する全ての事業について、検証を行い、読書活動に関わる事業の実施方法等を見直したところでございます。令和3年度につきましては、児童・生徒に読書の喜びや大切さを伝えていくため、朝読書のさらなる推進などの工夫を行いながら、読書活動の取り組みを進めてまいります。

次に、子供たちへの成長や学習面への影響についてでございます。

児童・生徒が自ら進んで読書に親しむとともに、読書を通して新しい情報のみならず、様々な情報を

得ることで人生を豊かにしようとする姿勢を養うことは大変重要であると認識をしております。

来年度につきましましては、学校図書館を中心としながら、中央図書館による新刊情報等の周知やICT機器の活用により、調べ学習等を進めてまいります。次に、教育に関する取り組みについてでございます。

教育の重要性につきましましては、状況の変化があっても、決して変わるものではないと考えております。教育委員会といたしましては、引き続き、一つ一つの教育活動を工夫するなど、教育環境の向上に取り組んでまいります。